

2018年3月期連結業績 および 2019年3月期連結業績予想

2018年5月16日

サクサ ホールディングス株式会社

＜将来の見通しに対する記述の注意事項＞

本資料に記載されている業績予想、将来予想については、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合がありますのでご承知おきください。

本資料に記載されている各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。

また、増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

2018年3月期 連結業績概要

1. 中期経営計画の概要
(位置付け・事業構造の再構築)



2. 事業構造の再構築・経営基盤の強化の主な取組み



3. 連結損益計算書



4. 連結売上高の主な増減内訳



5. 連結営業利益の主な増減内訳



6. 連結貸借対照表



7. 連結キャッシュ・フロー計算書



徹底した事業の効率化と成長軌道への足がかりとする期間

基本方針

- 持続成長可能な事業への転換
- あるべき姿に向けた収益構造への変革

Beyond2020
その先へ

中期経営計画の取組み

事業構造の再構築

- ・集中事業の拡大
- ・新規事業の創生
- ・事業の効率化

経営基盤の強化

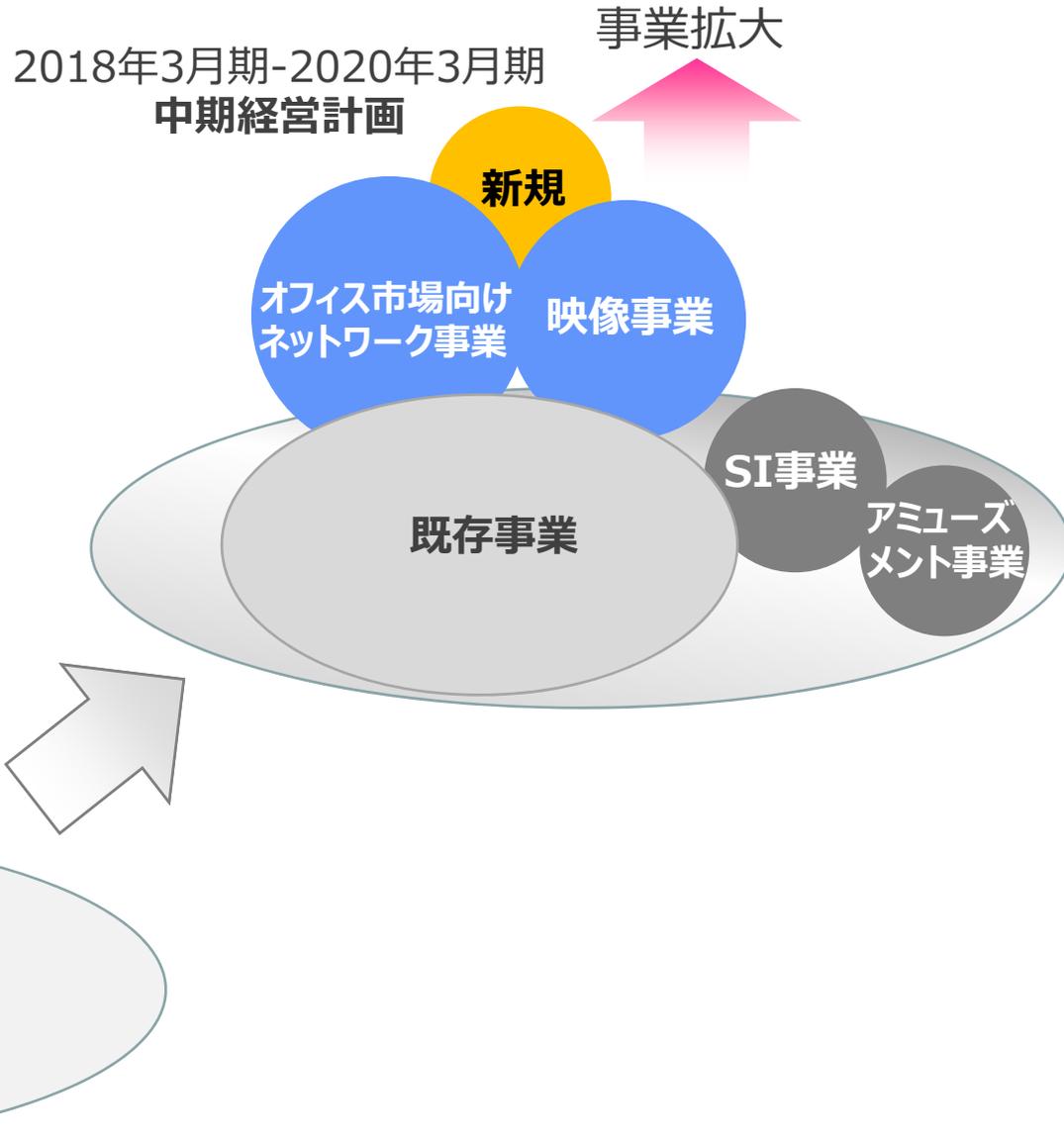
- ・グループ機能の最適化
- ・総原価の低減
- ・財務体質の強化
- ・要員の適正化

中期経営計画

2018年3月期-2020年3月期

事業構造の再構築

- ・集中事業の拡大 ●
- ・新規事業の創生 ●
- ・事業の効率化 ●



オフィス市場向けネットワーク事業

- **高まる情報セキュリティニーズに対応したセキュリティ強化製品の拡充**
 - ・ UTM「SS5000」、情報セキュリティゲートウェイ「GE1000」の発売

映像事業

- **事業認知と新規顧客開拓を推進**
 - ・ 映像圧縮ゲートウェイやVMS等を活用した「映像ソリューション」「IoTソリューション」の認知拡大と新規顧客開拓（スマート工場EXPO2018へ出展）
- **高付加価値製品の開発**
 - ・ 映像処理の集中を軽減する分散処理を実現した映像管理システム「SKVMS」の提供
 - ・ 高画質映像を1/10に圧縮し、リアルタイムに配信できる映像圧縮ゲートウェイ「VC1000」製品化

新規事業

- **事業認知と新規顧客開拓を推進**
 - ・ 「スマート工場EXPO2018」へ出展
- **医療、社会インフラ市場等での新規事業創生を目指すための投資の実施**
 - ・ AI技術を開発・提供するアクションリサーチ株式会社への出資
- **ベンチャー企業との協業による新規事業の創生やAI技術の導入を加速するための投資の実施**
 - ・ ベンチャーファンドへの出資（SBI AI&Blockchainファンド）
- **IoTゲートウェイをIBMのWatsonと連携し、新たなIoTサービスの創生**
 - ・ 「新価値創造展」へ出展

経営基盤の強化

- 総原価の低減
- 有利子負債の圧縮
- 人材育成
- コーポレートガバナンスの強化

集中事業は堅調に推移したが、OEMキーテレホンシステム受注減少、アミューズメント市場向け低迷継続で減収減益。ROEは減益に伴い1.2%に減少

(単位：億円)

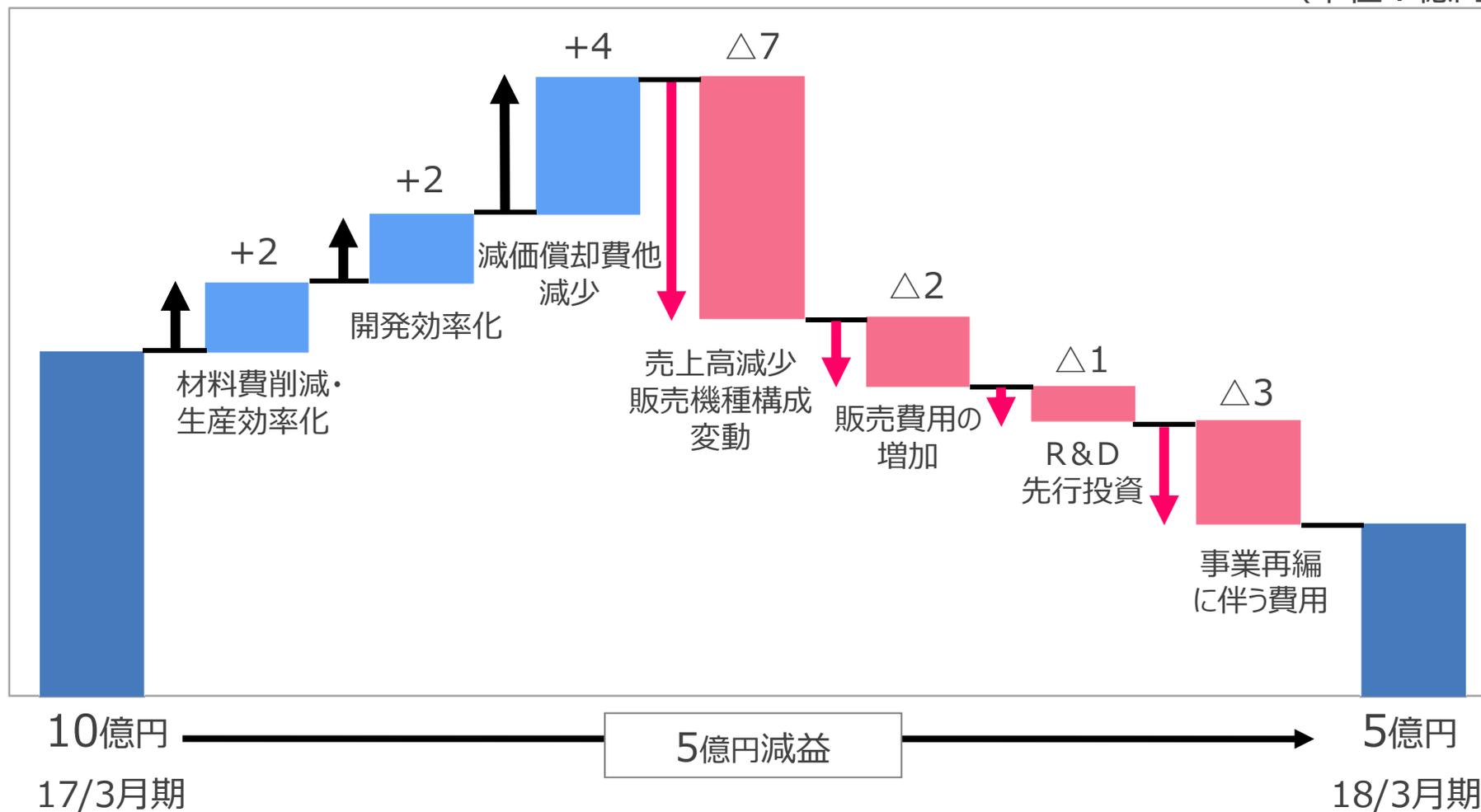
	17/3月期 実績 (A)	18/3月期 実績 (B)	増減	
			(B-A)	比率
キーテレホンシステム	142	122	△20	△14%
ネットワーク機器他	118	113	△5	△4%
ネットワークソリューション分野	260	235	△25	△10%
セキュリティシステム	73	62	△11	△15%
部品他	71	80	9	13%
セキュリティソリューション分野	144	142	△2	△1%
連結売上高	404	377	△27	△7%
連結営業利益	10	5	△5	△50%
連結経常利益	11	7	△4	△36%
親会社株主に帰属する当期純利益	5	3	△2	△40%
1株当たり当期純利益	84.18円	48.02円	—	—
ROE	2.2%	1.2%	—	—
配当	50円	(予定) 30円		

※2017年10月1日付で当社普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。

2017年3月期の期首に当該併合が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」および「配当」を算定しております。

減収による5億円の減益

(単位：億円)



売上債権等の資産の減少で8億円、長期借入金の返済等による負債の減少で15億円、
 その他有価証券評価額金等の増加による純資産の増加が7億円あり、総資産は8億円減少

(単位：億円)

資産の部	17/3月期末 (A)	18/3月期末 (B)	増減 (B - A)	主な増減の要因
流動資産	252	244	△8	現金及び預金、売上債権等の減少
固定資産他	164	164	0	
資産合計	416	408	△8	
負債・純資産の部	17/3月期末 (A)	18/3月期末 (B)	増減 (B - A)	主な増減の要因
流動負債	112	120	8	支払債務等の増加
固定負債	77	54	△23	長期借入金、退職給付に係る負債の減少
負債合計	189	174	△15	
純資産合計	227	234	7	その他有価証券評価差額金、退職給付に係る調整累計額の増加
負債・純資産合計	416	408	△8	
自己資本比率	54.3%	56.8%	2.5%	

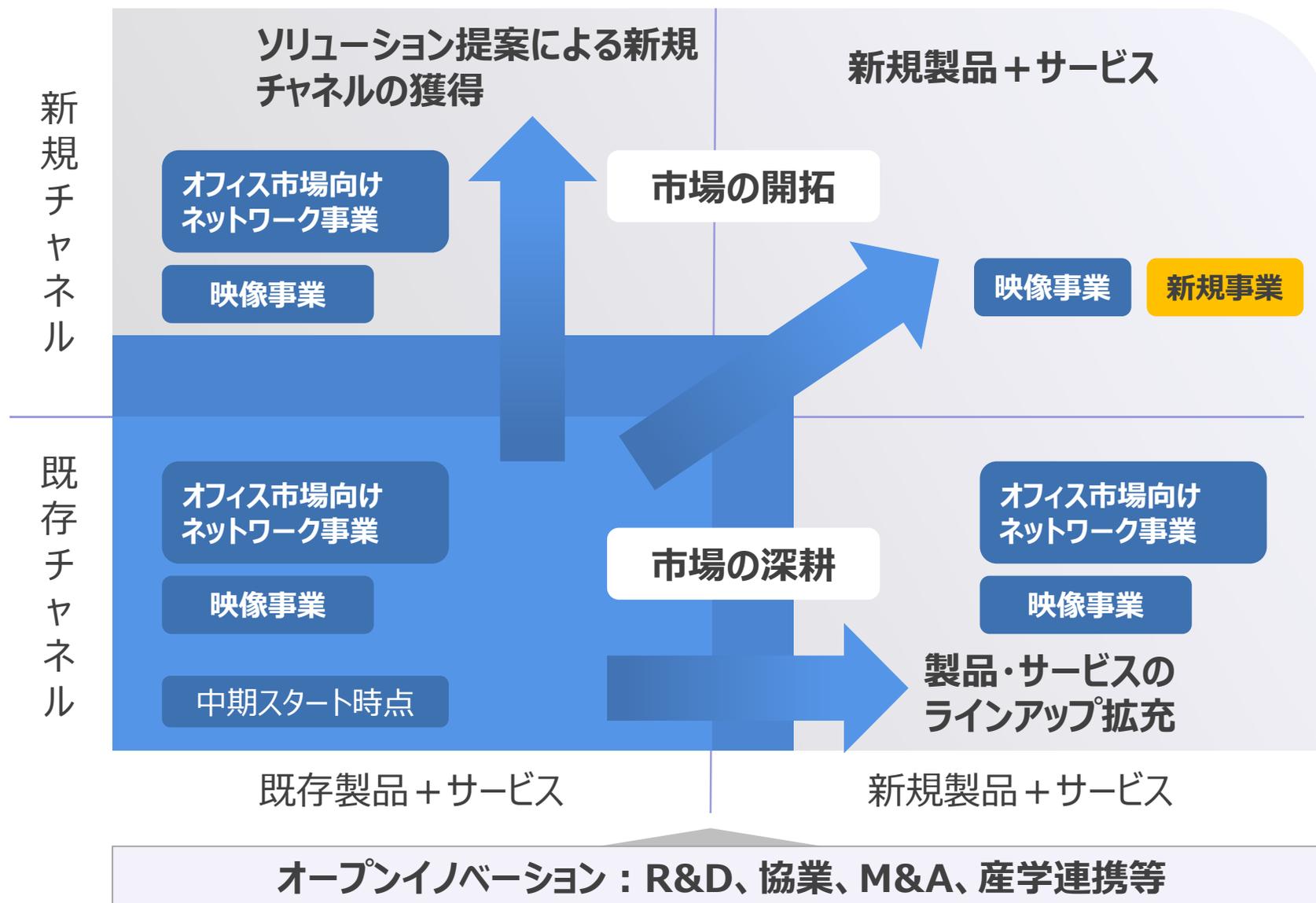
投資活動、借入金の返済等の支出があり、現金及び現金同等物期末残高は5億円減少

(単位：億円)

	17/3月期末	18/3月期末
A. 営業活動によるキャッシュ・フロー	37	32
税金等調整前当期純利益	9	6
減価償却費	22	21
運転資金の増減	5	5
その他	0	0
B. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△16	△20
設備投資支払額	△16	△18
その他投資活動	-	△2
フリー・キャッシュ・フロー	21	12
C. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△17
借入金の返済等	△7	△14
配当金その他財務活動	△3	△3
現金及び現金同等物期末残高	83	78

2019年3月期 連結業績予想

1. 事業構造の再構築・経営基盤の強化の主な取組み
(中期経営計画) 
2. 連結損益計算書 
3. 連結売上高予想の主な増減内訳 
4. 連結営業利益予想の主な増減内訳 
5. 投資計画 
6. 中期経営計画の目標とする経営指標 



市場の開拓

ソリューション提案による新規チャネルの獲得

情報セキュリティ対策

ネットワーク構築

業務サポート

サービス

・UTM見える化ツール

・光回線サービス

・ネットワークカルテ
サービス

オフィス



製品

・UTM

・情報セキュリティゲートウェイ

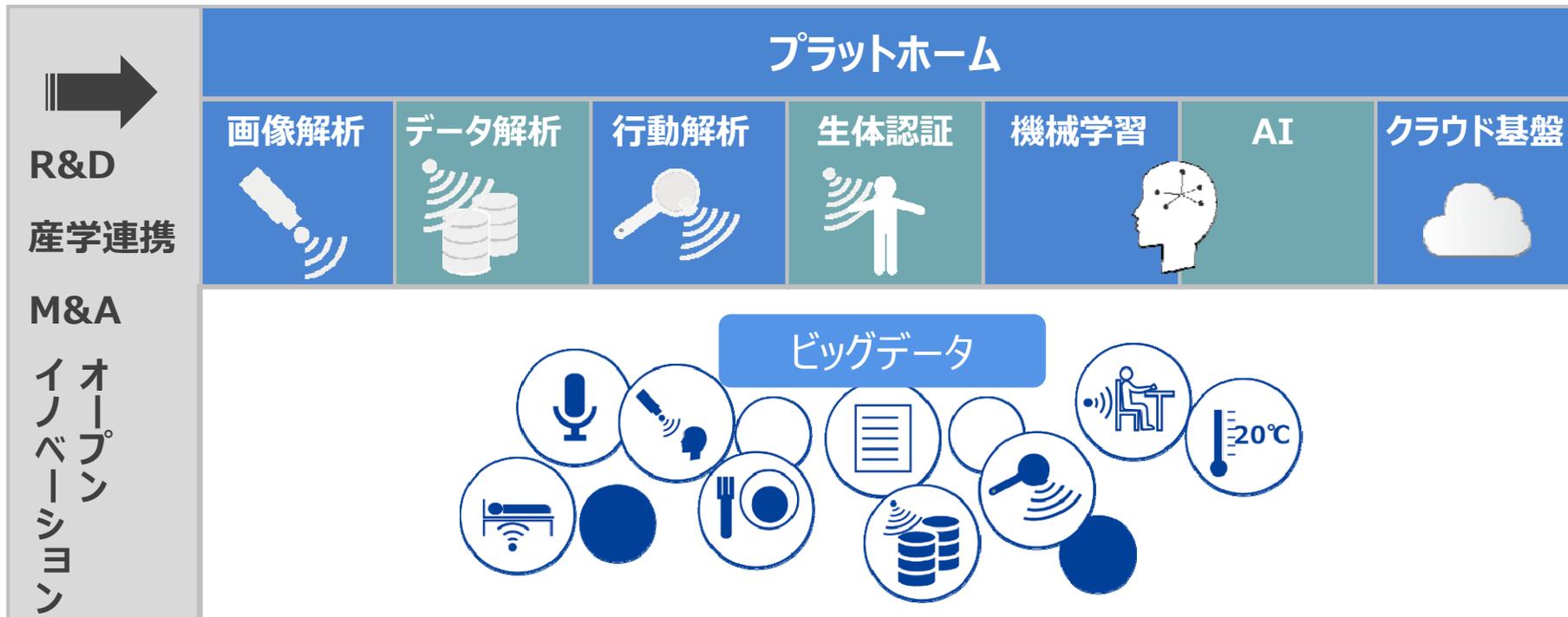
・ゼロコンフィグVPNルータ

・ファイルサーバ

・業務支援サーバ



社会インフラ市場へ展開



経営基盤の強化

- **グループ機能の最適化**
 - ① 新規事業開拓部門の強化と事業構造の再構築に向けた経営資源の配分の見直し
- **総原価の低減**
 - ① 開発-調達-生産-販売-保守までの各プロセスにおける一貫したトータルコストダウンの継続推進
 - ② 外部流出費用の削減
 - ③ 開発生産性および品質の向上
- **財務体質の強化**
 - ① 資本効率・開発効率・投資効率の向上
 - ② 棚卸資産の圧縮
 - ③ キャッシュポジションの最適化と有利子負債の圧縮
- **要員適正化**
 - ① 事業構造の変化に合わせた要員の配置
 - ② 事業転換を推進する人材の確保

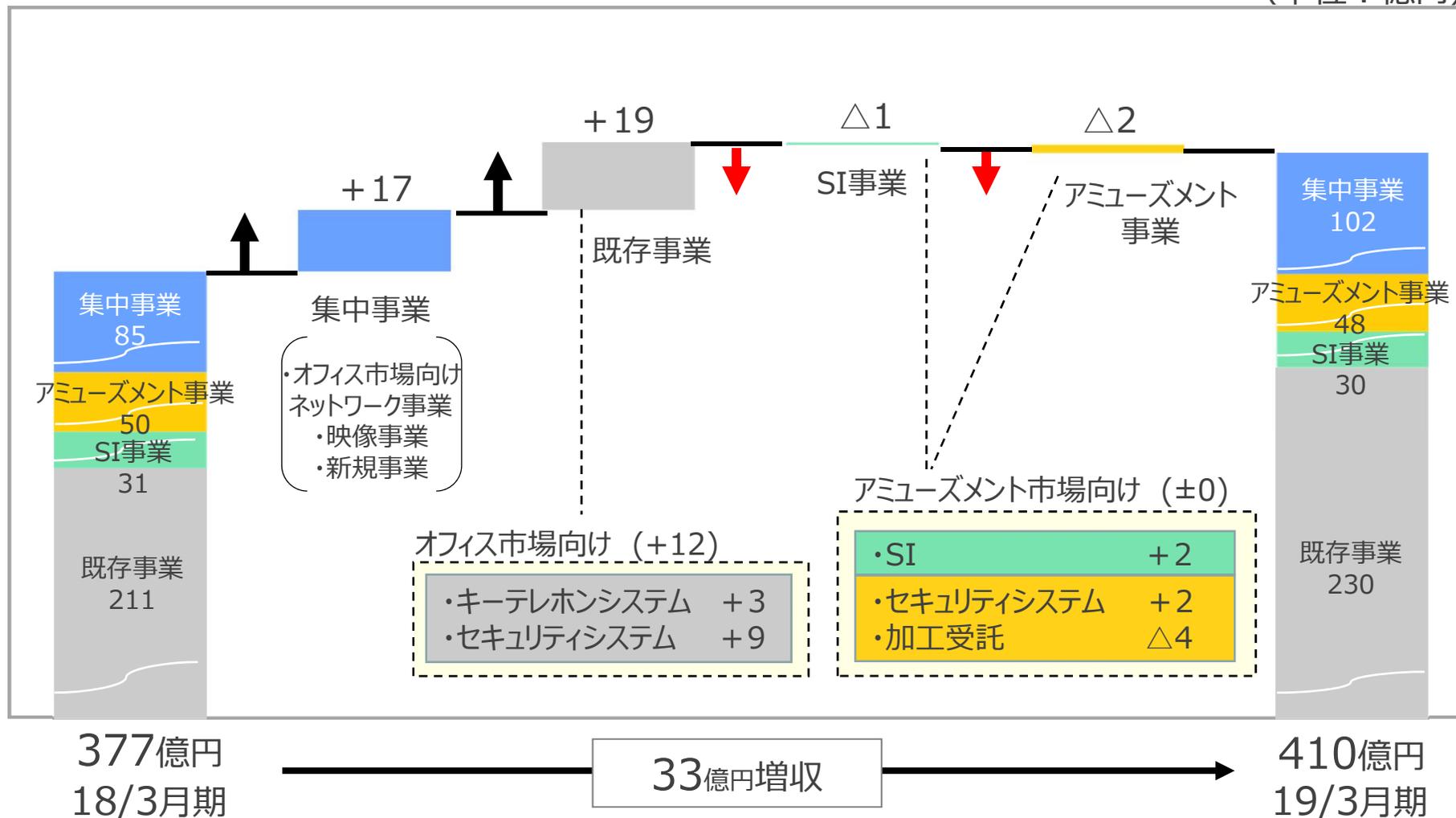
継続した「集中事業の拡大」「新規事業の創生」への取組み強化により、増収増益を予想
増益に伴い、ROEは4%台に向上、配当は50円を予想

(単位：億円)

	18/3月期 実績 (A)	19/3月期 予想 (B)	増減	
			(B-A)	比率
キーテレホンシステム	122	125	3	2%
ネットワーク機器他	113	130	17	15%
ネットワークソリューション分野	235	255	20	9%
セキュリティシステム	62	72	10	16%
部品他	80	83	3	4%
セキュリティソリューション分野	142	155	13	9%
連結売上高	377	410	33	9%
連結営業利益	5	15	10	200%
連結経常利益	7	15	8	114%
親会社株主に帰属する当期純利益	3	10	7	233%
1株当たり当期純利益	48.02円	171.15円	-	-
ROE	1.2%	4.0%	2.8%	-
配当	(予定) 30円	(予想) 50円		

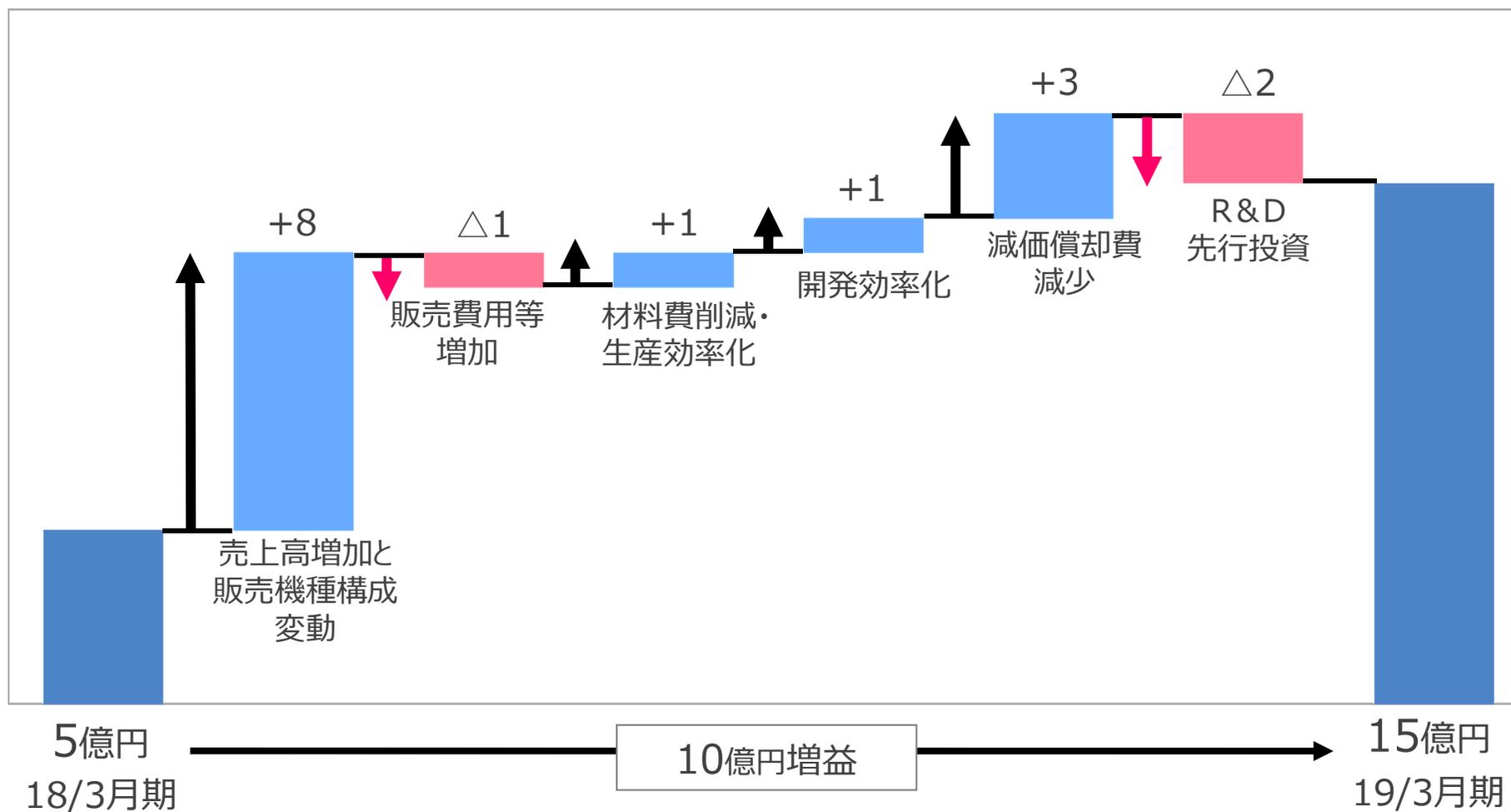
集中事業のさらなる取組み強化により、オフィス市場向けネットワーク事業および映像事業の受注増を見込む

(単位：億円)



増収および原価低減活動により10億円の増益を予想

(単位：億円)



新商品開発に伴うソフトウェア、金型等の投資および新規事業創生のための先行投資

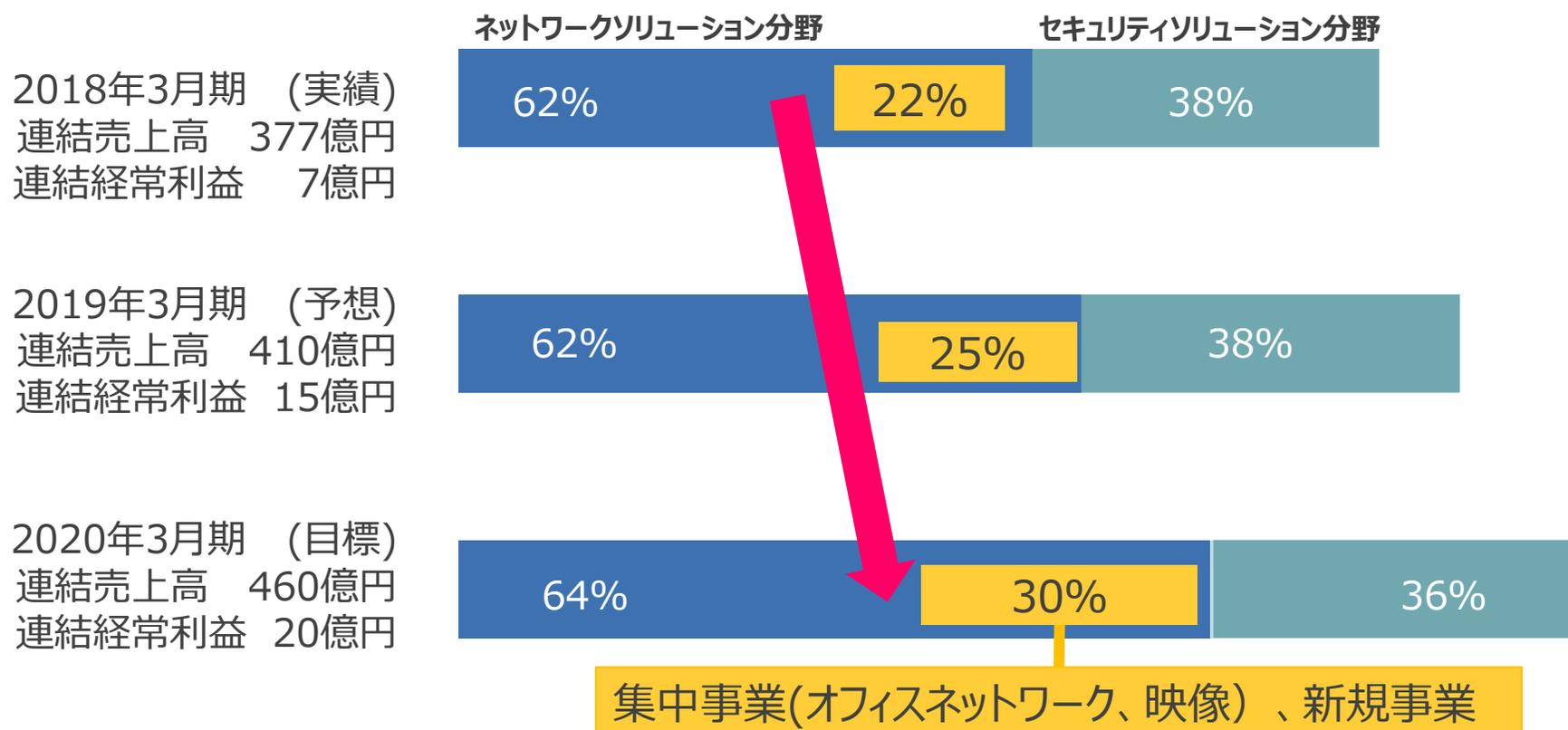
(単位：億円)

	18/3月期 実績(A)	19/3月期 予想(B)	増減 (B - A)
設備投資 (有形)	4	9	5
設備投資 (無形)	15	15	-
合計	19	24	5
研究開発費	45	43	△2
(新規事業の創生に向けたR&D)	(4)	(6)	(2)
減価償却費	21	18	△3

2020年3月期目標

連結売上高 **460億円** 連結経常利益 **20億円** ROE **5%以上**

<各分野の売上高構成率の推移>



※ 集中事業および新規事業の売上高構成率は、連結売上高合計を基準に算定しています。



コーポレートメッセージ

つなげる技術の、その先へ。

心地よい暮らし、つまり、

安心で安全、快適で便利な環境の実現に向けて。

つなげる技術を、さらにつなげていくこと。

それを、お客様の明日へとつなげていく、サクサです。